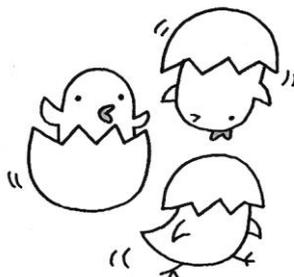




長谷田公子
070-5564-6271
八幡町 44

議会報告

2024年
3月議会特集号



北島元雄
090-4065-2120
波志江町 3626

発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 Tel.25-4854/fax24-8204
ホームページ www.jcp-isesaki.net/ メールアドレス sigidan@jcp-isesaki.net

放課後児童クラブ第2子・3子軽減を 一般質問

2月21日から3月21日まで定例市議会が開催され、新年度予算など審議されました。日本共産党議員団は北島議員が一般質問を、長谷田議員が一般会計予算質疑など行いました。概要を報告します。

3歳児以上は保育料が無料になり負担が軽減されましたが、小学校に入ると放課後児童クラブの利用料負担がのしかつてきます。非課税世帯には軽減制度がありますが、第2子・3子が入所している家庭には軽減策がなく負担が大変です。市では不公平という理由で、公立にあった多子世帯の軽減策を突然廃止。低所得世帯への軽減策に変更した結果、市の持ち出しが368万円も減りました。

異次元の子育て支援を国が打ち出すほどの課題です。民間の児童クラブですでに、独自に58中46のクラブで多子世帯の軽減策を実施しています。公立が実施しない方がおかしいのです。

民間任せでなく、市として公

誰もが使える交通対策に「タクシー活用事業

11月に始まる高齢者タクシー活用事業は3000円まで半額助成、超えると割引率が減額され、上限が1500円です。回数は72回と増えますが1回の負担はこれまでとさほど変わりません。余裕のある人は活用が可能ですが、年金の少ない高齢者は使えません。地域別の利用状況を見てわかるように、市街地から離れている方は活用できない心配があります。

「明日●時をお願いします」と伝えると「空いているかわからない。その時に電話を」といわれ、帰りに電話すると「2時間待ってもらおう」といわれた体験者からは

「あてにならないタクシーは不便」という声も。こうした心配のない対策を求めました。

「タクシー事業者に運転手や待機場所を増やしてもらえよう、事業の周知活用を進めたい」と、的外れな答弁です。実施していく中で意見を聞き改善していくということです。使いやすいものにするため、大いに声を上げていきましょう。

地域別タクシー券申請人数

伊勢崎地区	2041人
赤堀地区	78人
あずま地区	99人
境地区	448人

立ち民間も区別なく多子世帯への軽減策の実施を求めました。子ども基本法の制定を機に、子ども政策に対する転換期を迎えており、市の「子ども計画」策定過程で研究していくとの答弁がありました。



質問する北島市議